

ふるため あそびの学校

絵本
画家

スズキコーゾズキンと おばけカーニバル!

木で作られた学校が、ひっそりと豊橋にのこっています。
そのふるい校舎には、たくさんのおばけたちが住みついています。
さあ、おばけを探しにきませんか。
そして、おばけたちの仲間になって、
にぎやかなカーニバルを楽しみましょう。

絵本画家スズキコージさんとおめんをつくって
パレードしたりさわいだり、おばけになりきるワークショップです

とき 平成23年 9月11日(日) 10:00~16:00 ※お弁当持参 ※雨天決行

ところ 豊橋市民俗資料収蔵室 (旧多米小学校 / 愛知県豊橋市多米町滝ノ谷34-1-1)

アクセス 市電「豊橋駅前」より「赤岩口」下車、豊鉄バス飯村岩崎線乗り換え「柳原団地」下車徒歩3分
※駐車場の台数に制限があるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。
自動車での来場は申込みが必要です。

対象 小学生~中学生 ※小学3年生以下は保護者同伴

定員/参加費 100人 / 1人 500円

問い合わせ エコミュージアム研究会 事務局
小野 090-4187-5139 / 大橋 090-4210-9659

申込み締切
8/12(金)
申込み方法は
裏面を
ご覧ください

主催/エコミュージアム研究会 共催/ふるためイベント実行委員会 後援/豊橋市教育委員会
協力/多米校区自治会、多米小学校PTA、多米友好会、多米オヤジの会、多米校区老人クラブ連合会、竹とんぼの会、とよはしCAP、現代美術活用研究会
この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成金の交付を受けて行うものです。

スズキコーゾズキンとおばけカーニバル!

平成23年 9月11日(日) 10:00~16:00

■申込み方法

氏名、学年、連絡先電話番号を明記のうえ furutame@gmail.comへお送りください

複数名参加、自家用車で来場される方は、以下の必要事項も明記してください。

- 複数名参加の場合、参加者全員の氏名 ●保護者同伴で参加の場合、参加する保護者の氏名
- 車で来場する場合、車の台数



スズキコージ

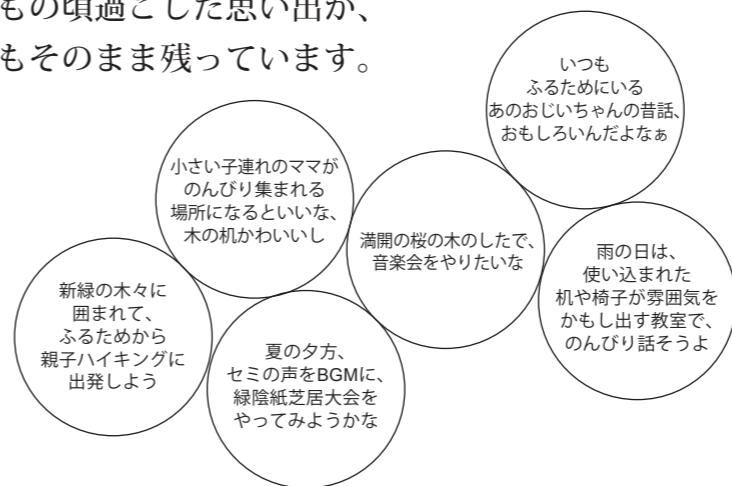
1948年浜松市(旧浜名郡浜名町)生まれ。物心がついたときから絵を描き始め、1968年に新宿歌舞伎町で初個展。多数の子どもの本の作品のほか、ライブペインティング、壁画制作、映画や演劇関係の美術、画集などサイケデリックフーテンヒッピー生活から生み出されたその才能は止まるところを知らず、多くのファンを持つ。絵本『エンソくんにしゃにのる』(福音館書店)、『ブラッキンダー』(イーストプレス)、画集『スズキコーゾズキンの大魔法画集』(平凡社)などなど。子どもたちを対象としたワークショップを全国各地で精力的に開催している。

申込み締切
8/12(金)



豊橋市に唯一のこる木造校舎「ふるため」

山に抱かれ、木々に囲まれた校舎には、
ゆったりとした時間が流れています。
おじいさんやおばあさんが
子どもの頃過ごした思い出が、
いまもそのまま残っています。



このふるためを、地域の価値ある資源としてとらえ、
地域の幅広い世代の人々にとっての憩いの場、
活動の場として位置づけしていこうという思いが、
いま芽ばえ始めています。

イベント実行委員会 メンバー募集中

ふるためを地域の交流の場としていくため、自分を楽しめること、得意なことを持ち寄って、イベント企画などを担うネットワークのメンバーを募集しています。まずは、「ふるため あそびの学校」と題する本イベントと、11月のイベント2回を企画しています。地域からたくさんの方々に参加していただき、ふるためを肌で感じてもらうためのイベントです。月に1回程度集まって、このイベントの企画・運営や、今後ふるため地域の人たちが集いやすい場となるようなしなげづくりをお手伝いしていただけるメンバーを募集します。あなたなら、ふるためを何をやりたいですか? ご連絡をお待ちしています。

問い合わせ・申し込み
事務局
エコミュージアム研究会

電話 090-4187-5139 (小野)
090-4210-9659 (大橋)
メール furutame@gmail.com

今回のイベント

「ふるため あそびの学校~本日、開校!」

■とき/11月12日(土) 11:00~16:00

■ところ/ふるため(多米民俗資料収蔵室)

地域の大人たちが先生となって運営する「あそびの屋台」。それは、大人が自分の「得意ワザ」を子どもたちに教え一緒に楽しむ場です。たくさんの方々がスラ〜と並び、大人も子どもも入り乱れて遊ぶ様子は、いわば「あそびの学校」。世代や地域を超えた人々の交流の場が生まれます。

エコミュージアム研究会とは

この活動は、2008年に多米校区自治会主催の住民ワークショップの成果として豊橋市に提出された、ふるための活用についての提言書の内容に基づくものです。その住民ワークショップの運営を行ったエコミュージアム研究会がイベント実行委員会の事務局を担い、地域の価値ある資源としてのふるためを、地域の人々の憩い・活動の場と位置づけ、その創出に取り組んでいます。